

## <第6世代アルミツインチューブフレーム>

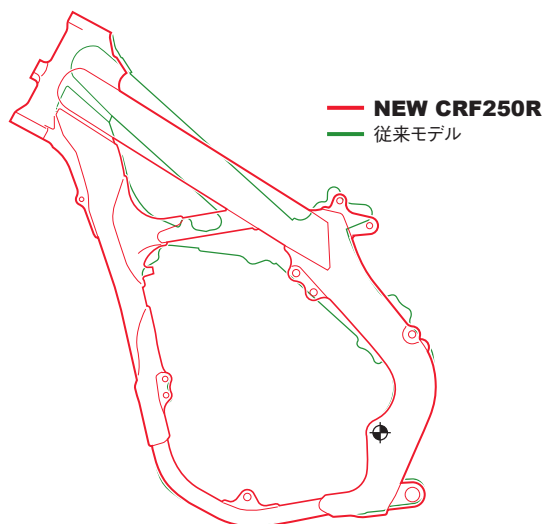
### ●フロントの接地感向上

2013年モデルに比べ、ヘッドパイプとメインパイプの結合部を下方に移動させることで、ヘッドパイプ回りの剛性を最適化しました。ジャンプ着地時などに必要な剛性を保ちながら、コーナリング時には今まで以上にしなるバランスとすることで、前輪の接地感からくる車体の状態をより感じるできるようになりました。これにより2014年モデルCRF250Rは圧倒的なコーナリング特性を備え、ライダーは今まで以上に確信を持ってコーナーをクリアすることができます。

### ■アルミツインチューブフレームCG



### ■メインフレーム形状比較



### ●リアトラクションの向上

車体の安定感向上のために、リアクッション上部とメインパイプ、ピボットプレートそれぞれをより近づけたレイアウトとし、リアクッションの作動性を向上させました。また、メインパイプとダウンチューブを結合するスティフナーパイプ部およびエンジンヘッドハンガーの取り付け位置を見直す事で、リアクッションから伝わる路面ショックを重量増を抑えながらもより高い剛性で受け止められる設計としました。

これらにより、特に荒れた路面での加減速時のトラクションを向上させ、より意のままに操れる特性を目指しました。

